

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D4-16	
		仕様		STD	
		適用号機		KWM00001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度			
		ハイアイドル	min ⁻¹	2100	
		ローアイドル	min ⁻¹	800	
		トルコンストール状態	min ⁻¹	—	
		（冷却水温）	(°C)	—	
		（作動油温）	(°C)	—	
	エンジン油圧		kgf/cm ²	2.9～	
		（油 温）	KPa	280～	
	弁すき間		(°C)	(通常運転)	
		（回転速度）	(min ⁻¹)	(2200)	
燃料装置	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.26±0.05	
		排気弁 隙間	mm	0.33±0.05	
	（測定条件）			(冷間時)	
		圧縮圧力又は	kgf/cm ²	3.6	
気筒間圧縮圧力差	KPa	350			
	（冷却水温）	(°C)	(—)		
（回転速度）	(min ⁻¹)	(—)			
冷却装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	設定なし		
		KPa	(コモンレール)		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし		
		[測定位置・条件]	(自動張り調整)		
	[kgとNの両方で表記]	[N]			
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—	
		ペダルの遊びとストローク	c m		
		ペダルの全ストローク	c m		
	走行ミクラッショントランス	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—
		ダイレクトシフト型		kg/cm ²	—
			ミッション潤滑油圧	KPa	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm ²	—
			ミッション潤滑油圧	KPa	—
			クラッチ油圧	kg/cm ²	—
		(ミッション油温)		(°C)	—
(エンジン回転速度)		(min ⁻¹)	—		
プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m	—		
		kg・m	—		
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—	
		レバーの全ストローク	c m	—	
		ステアリングクラッチ油圧	MPa	—	
	(油 温)	kg/cm ²	—		
	(回転速度)	(°C)	—		
		(r p m)	—		

キャタピラー					令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会					
適用範囲			モデル名		D4-16					
			仕様		STD					
			適用号機		KWM00001～					
区分	検査箇所		検査項目（条件）		単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）		mm	—				
			鉄 シ ュ ー	張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）		mm	図1参照			
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 （図面番号表示）		mm	—					
		履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件		N・m kg・m	400±70 40.8±7.1					
制動装置		駐車ブレーキ 走行ブレーキ		停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件		床面勾配 1/5以上	—			
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー		ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）		mm/分 mm/分 mm/分 mm/分	32mm/5分 地面から254mm 13mm/5分 チルト左一杯 — —			
		ドーザー・ショベル		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） バケットシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）		mm/分 mm/分	— —			
		（作動油温）		（℃）		28-48℃				
		作 業 機 速 度	ブルドーザー		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リッパシリンダ 作業装置姿勢 （図面番号表示）		秒 秒	2.1±0.2秒 地面～最大 —		
			ドーザー・ショベル		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示） リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）		秒 秒	— —		
			（作動油温）		（℃）		—			
	油圧装置		油圧回路 設定圧力		主回路設定圧力 （作動油温）		kg/cm ² MPa （℃）	255±3 25.0±0.35 （38～65）		
	備考									

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。